

令和8年8月18日

令和8年度第1回地域医療構想調整会議（仙南区域）  
救急患者転院搬送（下り搬送）連絡医療機関会議資料引用

## 下り搬送の流れ

地域救急体制整備部会

## 1. 対象となる医療機関：登録医療機関

大泉記念病院、川崎こころ病院、金上病院、公立刈田総合病院、国民健康保険川崎病院、国民健康保険丸森病院、国民健康保険蔵王病院、仙南病院、同済病院、船岡今野病院

## 2. 対象となる患者（各医療機関の受け入れ可能疾患一覧参照）

手術や血管カテーテル治療など専門性の高い医療が不要と考えられる上記病院でも対応可能と考えられる患者。※各診療科責任者の責任の元で判断する。

（脱水や誤嚥性肺炎、尿路感染症などで補液、抗生剤点滴等が主な治療となる患者など）各登録医療機関の受入可能患者に応じて、転院調整を行う。

※転院先で病状悪化した場合は当院にて受入を行う。

具体的な対象疾患：

肺炎 尿路感染症 熱中症 低体温症 脱水症 COVID19 陽性 インフルエンザ陽性 四肢骨折（保存）腰椎圧迫骨折（保存） 頭部外傷（軽症） 打撲 など

## 2. 転院の流れ

## （1）本人、家族への説明（できれば外来で）

①医師（主診療科、もしくは救急外来担当医）は、対象となる患者が早期の転院となることを患者本人、家族に説明し同意を得る。（説明用紙にて説明し、署名を得る）

・登録医療機関の中から MSW と相談して選定するか、転院先を医師と本人、家族で決定できる場合、申し込みする病院を決定する。（上記4病院の希望順位を記入してもらう。）

・日程は、転院先との相談となるため、選べないこと等も説明する。

②医師は上記説明した旨を MSW に連絡し、介入の依頼をする。

## （2）転院申し込み先の選定

①医師は診療情報提供書（テンプレート参照）を作成、MSW へ連絡。

②医師より依頼を受けた MSW は本人、家族に転院申し込み先を確認し、転院の流れを説明する。

③MSW は担当看護師に ADL 票作成を依頼する。

④医師は、必要時、画像出力依頼を行う。

## （3）転院申し込みから日時決定、搬送

平日：月～金 8：30～15：00 （最終出発時間：15：00）

①MSW は、診療情報提供書と ADL 票を FAX し、転院の申し込みをする。

※可能な範囲で当日もしくは翌日の午前中に受入していただけるよう依頼する

②MSW は、転院日時が決定したら担当看護師に報告する。

③担当看護師は医師に転院日時を報告後、本人、家族へ連絡し、来院時間、持参物を説明

する。決定後、MSW へ連絡する。MSW は医事課会計担当へ加算取得を依頼する。

④担当看護師または MSW は救急救命士に搬送を依頼する

⑤救急救命士は出発前に転院先連携室へ連絡し、出発する。

※転院先より医師から直接電話での申し込みを求められた場合は医師が転院申し込み先医師に電話する。

※入院から 4 日目以降の転院となった場合の移動手段は介護タクシーを利用する。

(4) 下り搬送後に転院先で重症化した場合の対応（転院先より受入要請があった場合）

①これ以上の高度な医療を希望されない場合：

転院先で治療を継続してもらう。特に BSC や DNAR の方針の確認については、下り搬送前に十分な説明を行い、転院先にも情報提供を行う。

②当院へ転院して治療を希望される場合

転院先の病院で病名がはっきりしており、かかりつけの診療科がある場合にはその診療科で対応する。

③上記以外の場合

担当すべき診療科が多忙な場合は、救急外来救急科が初期対応し、病態に応じた診療科に対応を依頼する。対応する診療科がはっきりしない場合は、ノンスペ当番へ対応を依頼する。夜間休日は、救急外来日当直医が初期対応し、病態に対応する診療科に依頼する。通常の夜間・休日の対応と同様。

#### 紹介状のテンプレート

##### 診療情報提供書

【診断名】 ○○

【紹介目的】：下り搬送

【添付資料】転院についての説明書

【治療経過・既往歴・家族歴】

平素大変お世話になっております。

救急搬送された○○さんですが、早期転院をご相談させていただきたく存じます。

転院については別紙資料を用いて説明を行い、ご理解・ご了承をいただいております。

～治療経過、急変時の対応希望について記載～

(延命処置を希望せず、自然な経過を希望など)

転院受入につきましてご検討のほどよろしくお願いいたします。

【検査結果】

採血データ添付

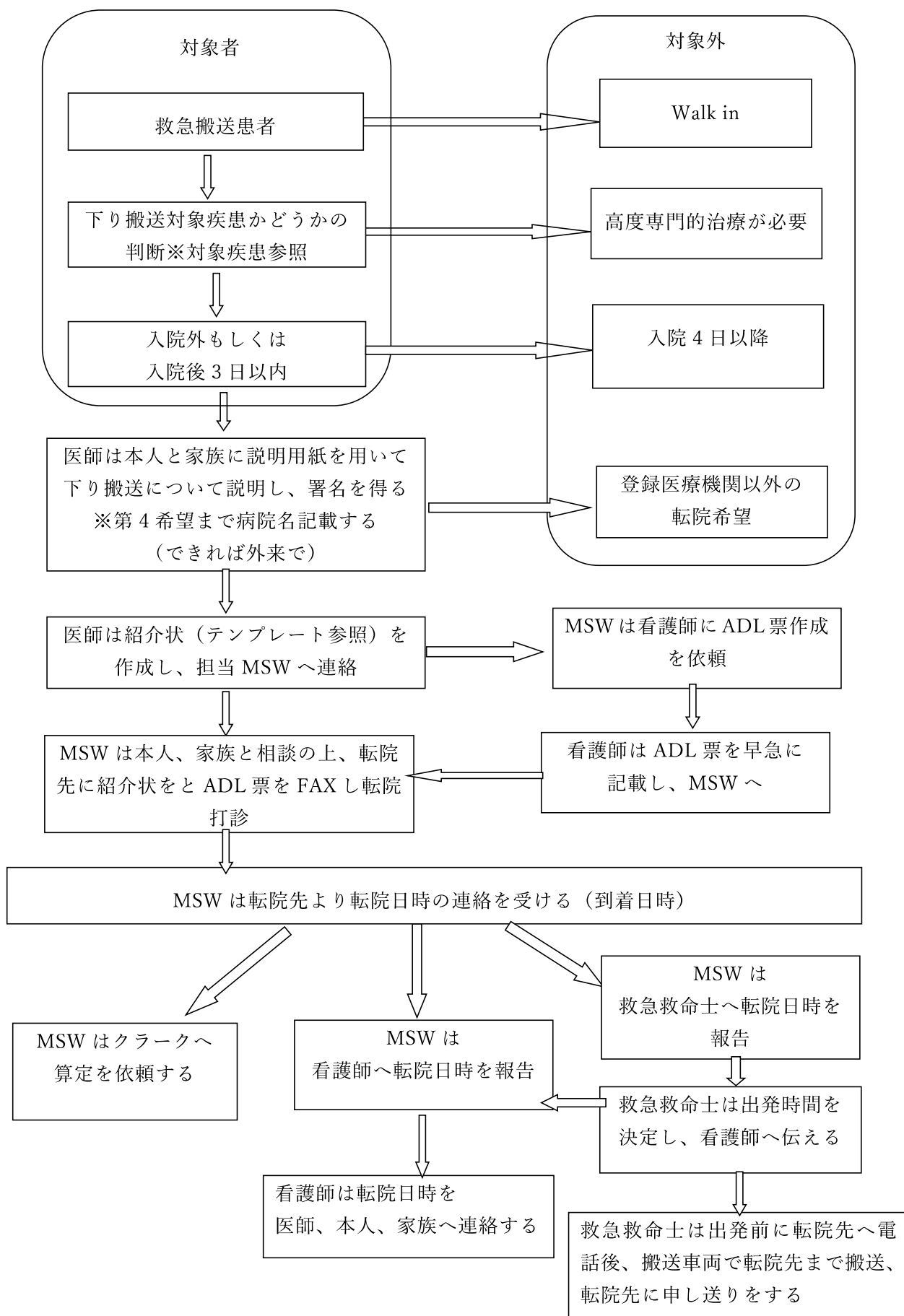
【処方】

処方データ添付

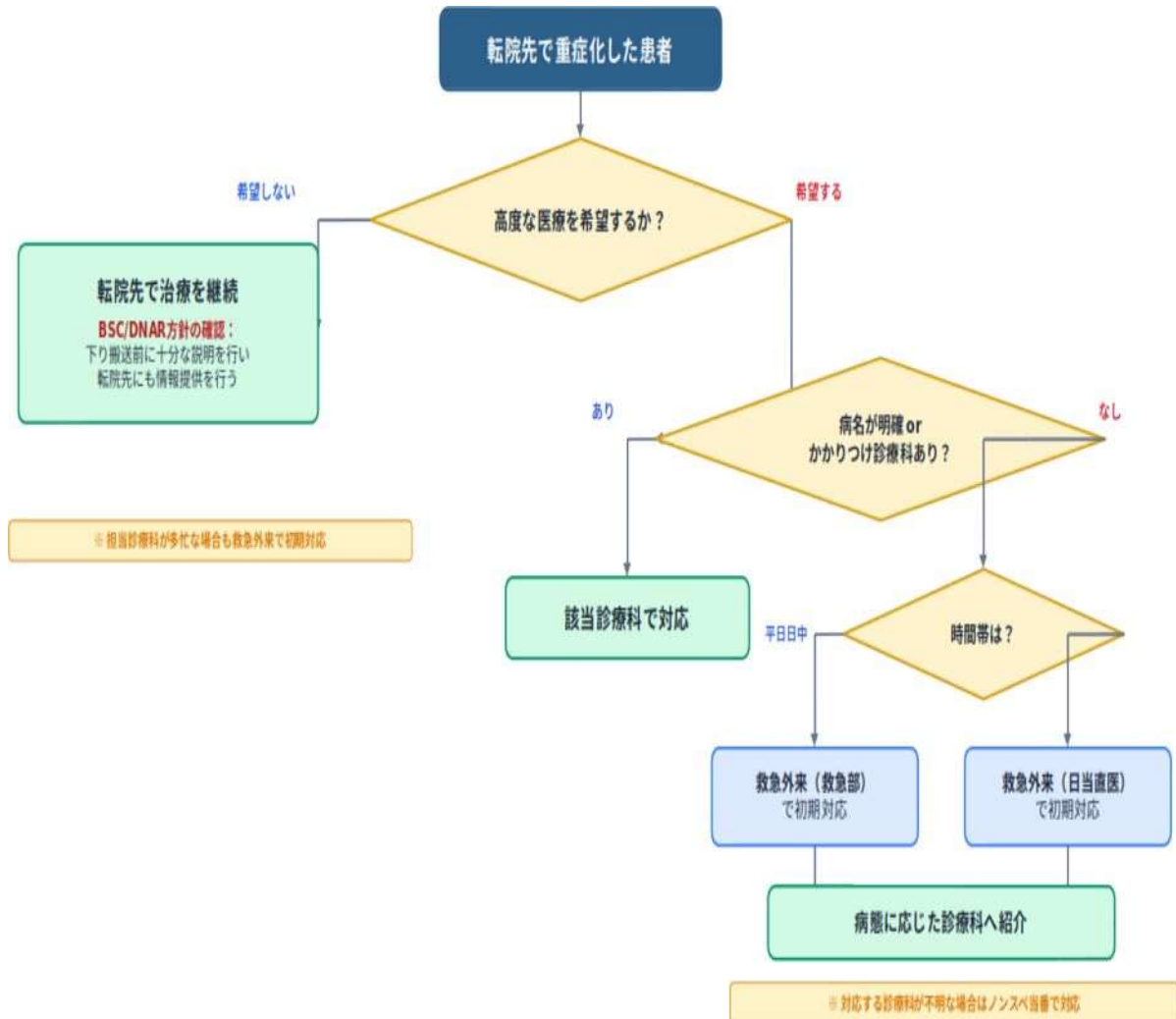
【注射】

注射、点滴内容添付

## 下り搬送フロー（対象者選定から転院まで）



## 下り搬送後に転院先で重症化した場合



転院についての説明書

〇〇（患者氏名）様    ご家族様

当院は救急患者さんを診察して専門治療（手術、血管カテーテル治療や内視鏡治療など）を行う病院です。仙南地域の大部分の救急車を受け入れているため、常に一定数の病床を空けておく必要があります。そこで、診察の結果、手術などを行わなくても点滴などで治療できる見込みの患者さんには、他の病院へ転院して治療を継続することをお願いしています。\_\_\_\_\_ 〇〇（名前）さんの現在の状態は、当院で治療をしても、他の病院で治療をしても治りに大きな違いは無いと考えられます。

明日の救急患者さんの受け入れのために、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

年                      月                      日

\_\_\_\_\_  
医師名  
\_\_\_\_\_  
本人・家族

転院先の受け入れ準備が整い次第、転院をお願いします。当日中転院ということもあります。

転院先の希望順位をご記入ください。希望順位上位の病院から問い合わせます。

|            |          |            |          |
|------------|----------|------------|----------|
| 大泉記念病院     | 第_____希望 | 川崎こころ病院    | 第_____希望 |
| 金上病院       | 第_____希望 | 国民健康保険川崎病院 | 第_____希望 |
| 国民健康保険丸森病院 | 第_____希望 | 国民健康保険蔵王病院 | 第_____希望 |
| 公立刈田綜合病院   | 第_____希望 | 仙南病院       | 第_____希望 |
| 同済病院       | 第_____希望 | 船岡今野病院     | 第_____希望 |